



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2005.3

No.251

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



マイフィールドガイド 羽生水郷公園

四分一保雄（羽生市）

県立公園として、Aの地区が昭和56年に、日本最初の淡水魚水族館は昭和58年にオープンしました。

池と湿地、芝の広場と林、野鳥の棲み家としてはもってこいの環境を備えています。

ムジナモの育成地は国の天然記念物ムジナモを育てているところです。立ち入り禁止のエリアです。中は細長い沼が縦横に掘られていて、普段は葦原になっています。早春に葦が焼かれると、沼と平地が現れ、絶好の鳥見ポイントになります。2004年2月22日の支部探鳥会では、わずか500m四方のところ、2時間たらずの間に、42種の鳥を観察しました。

普段、格別の鳥がいるわけではありません。埼玉県平野部にいる鳥が、ここにも大体見られます。水郷公園の名のとおり、どちらかと言えば水辺の鳥が多く見られます。

今まで観察した鳥の中で自慢のものは、クイナです。コアジサシ、コチドリも見ましたが、2004年には観察できませんでした。5月のシギチの渡りの季節には、公園の周囲の田んぼに沢山のシギやチドリが来ます。

ムナグロも一度に50羽以上見たことがあ

ります。

オオジギも見ました。あまり近づきすぎてズビヤーク、ズビヤークと逃げられました。カワセミもいるのですが、きまったポイントがある訳ではありません。広い地域をあちこち歩き歩いているようで、運がよければ見ることができます。

夏にはコヨシキリが来ます。B地区の大池の東側の小島のあたりで観察しました。夏の夕方にはゴイサギが上空を飛びます。

広い葦原があるので、猛禽類も結構見られます。これも埼玉県の平野部で見られる猛禽類です。サシバはまだ見ていません。来るのか来ないのか一度見てみたいものです。

冬のベニマシコも楽しみです。公園内のあちこちで見ましたがここというポイントがあるわけではありません。気をつけていれば、かなりの確率で見ることができます。

探鳥はどこでも同じだと思いますが、朝のほうが沢山の鳥を見ることができます。この公園は、特に休日には一般のお客様が入園するので、鳥は少なくなります。

春夏秋冬、それぞれの野鳥が皆様を待っています。

Bの地区は平成になってから造成されている所です。県の予算不足で遅々としています。今は工事中で立ち入り禁止ですが、休日には結構たくさんの方が入り込んで、散歩や魚釣りをしています。奥の大池には沢山の鴨が入っています。人の少ない今のうちが探鳥のチャンスかもしれません。

公園へのアクセスは自動車が良いでしょう。東北自動車道羽生インターから約5分です。国道125号線加須市から約10分です。

バスは羽生市が運行している市内循環バスがありますが、1日2便しかありません。駐車場は無料です。



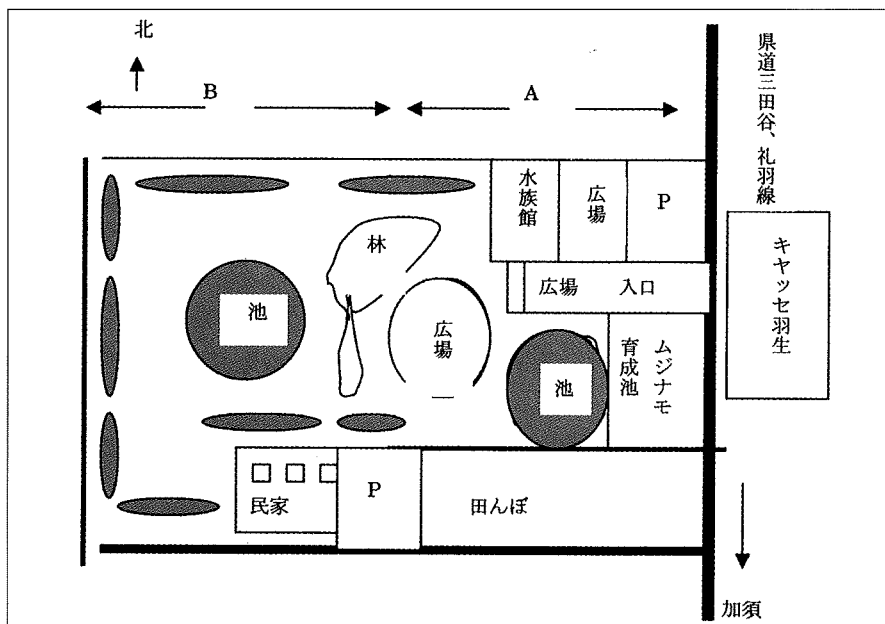
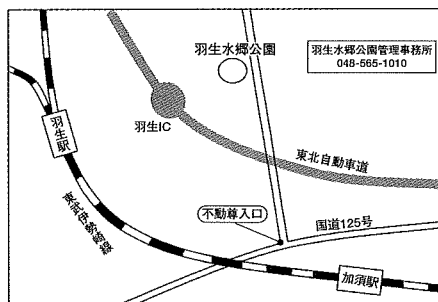
ベニマシコ（編集部）

羽生水郷公園とその周辺で観察された鳥

2002.1.1-2003.12.31 春3.4.5月, 夏6.7.8月, 秋9.10.11月, 冬12.1.2月

		春	夏	秋	冬
1	カイツブリ	○	○	○	○
2	カワウ	○	○	○	○
3	ゴイサギ	○	○	○	
4	アマサギ	○			
5	ダイサギ	○	○	○	○
6	チュウサギ	○	○	○	
7	コサギ	○	○	○	○
8	アオサギ	○		○	○
9	オシドリ	○		○	○
10	マガモ	○		○	○
11	カルガモ	○	○	○	○
12	コガモ	○		○	○
13	オカヨシガモ	○		○	○
14	ヒドリガモ			○	○
15	オナガガモ	○		○	○
16	ハシビロガモ	○		○	○
17	ホシハジロ			○	○
18	ミコアイサ				○
19	トビ			○	○
20	オオタカ		○		○
21	ノスリ			○	○
22	ハイロチュウビ			○	○
23	チュウビ			○	○
24	チョウゲンボウ	○		○	○
25	キジ	○	○		○
26	クイナ			○	○
27	バン	○		○	○
28	オオバン	○		○	○
29	コチドリ	○	○		
30	ムナグロ	○			
31	タゲリ			○	○
32	クサシギ	○		○	○
33	イソシギ			○	○
34	タシギ	○		○	
35	セグロカモメ				○
36	コアジサシ	○			
37	シラコバト	○		○	○
38	キジバト	○	○	○	○
39	カワセミ		○	○	○
40	ゲラ				○
41	ヒバリ	○	○	○	○
42	ツバメ	○	○	○	○
43	キセキレイ	○			○

		春	夏	秋	冬
44	ハクセキレイ	○	○	○	○
45	セグロセキレイ			○	○
46	タヒバリ				○
47	ヒヨドリ	○	○	○	○
48	モズ	○		○	○
49	ジョウビタキ	○		○	○
50	ツグミ	○		○	○
51	ウグイス			○	○
52	コヨシキリ		○		
53	オオヨシキリ	○	○		
54	セツカ	○	○		
55	シジュウカラ	○		○	○
56	メジロ	○		○	○
57	ホオジロ	○	○	○	○
58	ホオアカ			○	
59	カシラダカ	○		○	○
60	アオジ	○		○	○
61	オオジュリン	○		○	○
62	カワラヒワ	○	○	○	○
63	ベニマシコ				○
64	シメ	○		○	○
65	スズメ	○	○	○	○
66	ムクドリ	○	○	○	○
67	カケス			○	
68	オナガ				○
69	ハシボソガラス	○	○	○	○
70	ハシブトガラス	○	○	○	○
		48	25	54	57



2004年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：2004年9月18日 9：35～11：25
 場所：さいたま市 大久保農耕地
 天候：曇り

一週間前には60羽前後のムナグロが観察されたということですが、当日は刈り取りも終わり田んぼはすっかり乾いた状態でした。

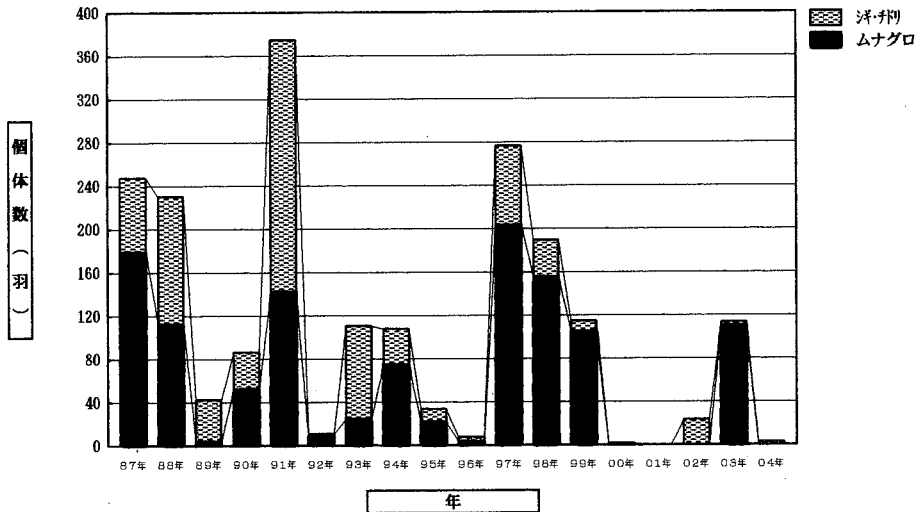
当日は高気圧が東海上にあり東へ移動しており、雲の多い天気になりました。また、3連休の初日でしたが、支部部会員16名の協力が得られました。

グラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数を、表は秋のカウント結果をまとめたものです。

観察された鳥類・個体数は1種2羽でした。

(注) シギ類はジシギ類かタシギなので、種数には入れませんでした。(石井 智)

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	合計
調査日	9/15	9/15	9/15	9/15	9/16	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/14	9/13	9/18	
天候	晴れ	曇り	晴れ	雨	雨	曇り	曇り	雨	雨	晴れ	雨	曇り	晴れ	曇り	曇り	雨、曇り	晴れ	曇り	
1 タマシギ					1														1
2 コチドリ		26						11	1		13								51
3 シロチドリ				2	2														4
4 ムナグロ	179	112	4	52	142	10	24	74	21	3	203	155	105				110	1194	
5 ケリ		2																	2
6 キョウジョシギ					2														2
7 トウネン					2		2												4
8 ヒバリシギ		1																	1
9 エリマキシギ											1	2							3
10 クサシギ	1	1			1			1		1									5
11 タカブシギ	36	15		12	17						4					3			87
12 イソシギ					5		1				1								7
13 ホウロクシギ													1						1
14 コシャクシギ												6							6
15 タシギ	29	72	38	20	185		80	19	11	1	51	24	6		17	3	1	557	
16 オオジシギ										2				1					3
ジシギ属	2	1			8			2			1	2	1		3				20
17 アカエヒレアシシギ					9														9
チドリ類											1								1
シギ類													1						2
合計	247	230	42	86	374	10	107	107	33	7	275	189	114	1	0	23	113	2	1960

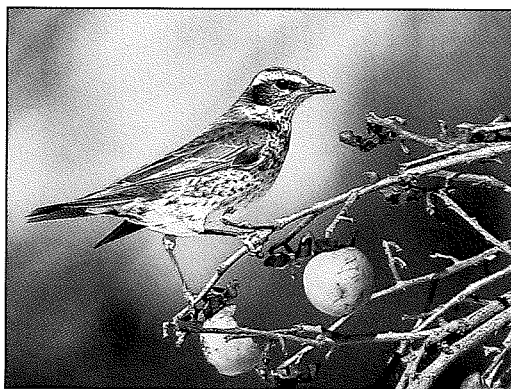


野鳥情報

岩槻市平林寺 ◇10月24日、赤坂沼でオカヨシガモ7羽、コガモ2羽、マガモ♀2羽、アオサギ1羽、カイツブリ2羽。クイナ1羽、葦の生え際を忙しく動いていた。タシギ1羽、コチドリ2羽、ジョウビタキ♀1羽、メジロ3羽、モズ2羽、アオジ3羽、カシラダカ多数、シジュウカラ多数、ヤマガラ2羽、ホオジロ3羽。狭い池と湿地と林にいろいろいましたが、残念なことにハンノキを含む湿地がこの1年で大規模に埋立てられ、最後の自然も破壊されつつあります（本多己秀）。

岩槻市西町 ◇10月31日午前9時半頃、自宅居間の窓から隣の空き地に目を向けた妻の「タカがいるよ」との声。息子と一緒に覗き込んで見ると、3~4メートル先の水たまり横にツミ♀1羽を発見。水を飲んでいたら水浴びをしていたようです。数秒経って近くの屋敷林へ飛び立った後、南の空へ羽ばたいて行きました。近隣ではツミの姿を見たことがないので、渡りの途中で休憩のために立ち寄ったのかもかもしれません（長野誠治）。

岩槻市本町1丁目 ◇11月24日、はるか上空からカラスの音がするので見上げると1羽のオオタカを2羽のカラスが追い回していた。オオタカは滑空しつつ、余裕しゃく



ツグミ（編集部）

しゃくでかわしていた（鈴木紀雄）。

岩槻市岩槻文化公園 ◇11月24日午前、元荒川上空でチョウゲンボウが舞い、オオタカも出現。11月30日、元荒川で上流へ飛ぶセグロカモメ1羽、アオサギ、ダイサギ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ。ここでは珍しいオオバン1羽。公園内でモズ、ウグイス、ジョウビタキ♀2羽、ツグミ、アオジ、シメ、アカハラ、カケスなど。葦原でベニマシコ、今期初認。暗い用水沿いの道で甲高く「ヒッヒッ」と鳴きながらルリビタキ♀出現。午後はシロハラ、ヤマガラ2羽など。12月2日、ダイサギ、コガモ、ヒドリガモ、イカルチドリ3羽、ユリカモメ、モズ、ウグイス、カシラダカ、アオジ、タヒバリ、ツグミ、シメ、カケスなど。12月3日、カワウ、ダイサギ、カイツブリ、イソシギ、オオバン、チョウゲンボウ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、アオジ、タヒバリ、シメ、ツグミ、シロハラ、カケス、ジョウビタキなど。12月7日、アオサギ、ハイタカ、チョウゲンボウ、ジョウビタキ、アオジ、シメ、ベニマシコ、ツグミ、アカハラ、シロハラ、コジュケイなど。12月8日、林縁で「グルルル・・・」と鳴くオジロビタキ1羽発見（鈴木紀雄）。

岩槻市岩槻公園 ◇12月1日、ルリビタキ成鳥♂1羽、カケス（鈴木紀雄）。

蓮田市黒浜 ◇11月30日、療養所内のブッシュにルリビタキ♀。ムクノキの実にくるシメ、ツグミ、アカハラ、シロハラ。「ツイリリリ」と「ジュルル」の音が聞こえるので確認したら、やはりキクイタダキ2羽とエナガ10羽以上だった。12月1日、田んぼ上空を飛ぶタゲリ12羽。療養所内でヒガラ1羽、ハイタからしきが林内を飛翔（鈴木紀雄）。◇12月7日、葦原でホオジロ、アオジ、シメ6羽、カシラダカ約50羽、ツグミ、キジ♀など賑やかでした。ホオジロ、アオジ、カシラダカが双眼鏡の同一視野に入って、その違いをよく観察できた。12月16日午前、カイツブリ12羽の中にハジロカイツブリ1羽。カルガモ多数、コガモ多

数、カワウ、ダイサギ1羽、アオサギ1羽、オオバン1羽、上空でオオタカ1羽がカラスにモビングされながら旋回。田んぼでタシギ4羽、今期初認（本多己秀）。

春日部市内牧 ◇12月2日、宮代側でカシラダカ10羽+、ノスリが舞う。林内の針葉樹でキクイタダキ2羽。車に乗って道路に出たら上空をツミが舞っていた（鈴木紀雄）。

春日部市増富 ◇12月17日午後4時5分、タゲリ1羽、餌を探している様子だった（小菅靖）。

さいたま市見沼用水東 ◇11月2日、水が引け浅くなった川に、取り残された小魚やザリガニを目当てに、サギが来ます。足で底をかき回したり、飛び跳ねたりして餌を取っていました。羽を大きく広げ、獲物を脅かして出てきたところを捕まえている瞬間を見ました（落合英二）。

さいたま市見沼区上山口新田 ◇12月13日 芝川土手沿いのセイタカアワダチソウの中に、ベニマシコ♂♀各1羽。盛んに採餌していた（赤堀尚義）。

さいたま市見沼区大谷 ◇11月29日、大谷環境広場でタヒバリ、ハクセキレイ、コチドリ3羽。12月3日、タゲリ4羽、イカルチドリ6羽、ツグミ20羽、タヒバリなど。12月8日、イカルチドリ13羽、コチドリ3羽、タヒバリ。タシギ2羽今期初認（鈴木紀雄）。

さいたま市見沼区染谷 ◇11月29日、林の中でヤマガラ2羽（鈴木紀雄）。

さいたま市見沼区丸ヶ崎 ◇12月18日、オオタカ1羽、チョウゲンボウ1羽。共にカラスにモビングされていた（本多己秀）。

さいたま市大宮区芝川小学校付近 ◇12月23日、刈り込んだ葦原の中の立ち木にシメが1羽、同じ木にツグミ2羽、ムクドリが数羽12月24日、小学校に隣接する葦原が刈り込まれたところにシメ20数羽、ホオジロ10数羽、ムクドリ10数羽、キジバト6羽が盛んに採餌。学校のフェンス脇ブッシュにアオジ♂♀。立ち木のとっぺんにモズ♂1羽、フェンスにジョウビタキ♂1羽（赤堀尚義）。

越谷市健康福祉村公園 ◇12月14日午前11時50分、公園内の池でユリカモメ約70羽（小菅靖）。

久喜市昭和池 ◇12月5日、カルガモ多数、マガモ多数、コガモ、トモエガモ♂1羽♀1羽、オカヨシガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ多数、ホシハジロ、ヤマガラ（本多己秀）。

川越市 ◇12月17日夕方、寺尾調節池でイカルチドリ、タシギ。新河岸川でコガモの群れを数えていたらトモエガモ♂1羽。新河岸川の改修工事が終り、ヨシガモ♂1羽、オカヨシガモ♀♀各1羽などカモ類の数も増えてきた（藤掛保司・宮子、豊寛登志子）。

川島町梅ノ木貯水池 ◇11月23日午後、ハジロカイツブリ1羽、カンムリカイツブリ1羽。両種ともに昨年の同時期にも同所で同数を確認した。ハシビロガモなどカモ類7種。水面上を飛び回っていたユリカモメ若鳥2羽（鈴木敬）。

東松山市大谷 ◇12月22日、いつもの散歩コースの途中にある串引沼で、マガモ、オカヨシガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、バン、オオバンの中にヨシガモ♂が1羽入っていた。近くの雑木山ではコゲラ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロの混群。その他ルリビタキ、ジョウビタキ、ウグイス、アオジなど。上空にはオオタカとノスリが舞っていた（中村豊己）。

吉見町・八丁湖 ◇12月24日、ベニマシコ♂♀各1羽がセイタカアワダチソウの種子をつついていた。ルリビタキは数を増し、周遊道、奥の山道方面とも、どこでも出会える状況になってきた（中村豊己）。

表紙の写真

シロハラ（スズメ目ツグミ科ツグミ属）

1月18日、狭山市智光山公園で

撮影：久保田忠資（狭山市）

繁殖するのはユーラシア大陸東端のアムール川下流域、ウスリー地方など。冬を過ごした県内各地の林から、まもなく旅立ちます。



行事案内



(富士鷹なすび)

コチドリ 小千鳥

3月中に時刻表が変更される鉄道・バスなどがあります。本欄に記載されているのは執筆時の時刻表です。ご注意ください。

加須市・はなさき公園探鳥会

期日：3月5日(土)

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅南口、または午前9時はなさき公園駐車場。

交通：JR 宇都宮線大宮 8:04→久喜 8:24、東武伊勢崎線春日部 8:21→久喜 8:34 発→花崎 8:41 着。

担当：中里、玉井、長嶋、田村、宮下、四分一、伊藤(隆)、栗原

見どころ：啓蟄の日。木々は芽吹き、足元にも緑が増えてきました。池ではカモが渡りの準備。帰る鳥たちに別れを惜しみながら、春の訪れを感じます。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：3月6日(日)

集合：午前8時40分、JR 宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：玉井、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、榎本(建)、青木、中村(榮)、吉安

見どころ：小さな花々が足元に競う。鳥たちは北への旅の準備、気の早いものは恋の相手を探し始めます。農村風景の中にそんな春を探して歩きます。

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月6日(日)

集合：午前9時30分、寄居駅南口広場。

交通：秩父鉄道熊谷 8:51 発、長瀬 9:04 発。

または東武東上線川越 8:30→9:07 小川町乗り換えで寄居行き。

担当：喜多、井上、後藤、小池(一)、大澤、堀(敏)、堀(久)、堀口

見どころ：春の息吹が感じられる時季ですが、冬の鳥たちもまだいます。この地の大スターを探して河原を歩いてみます。足拵えはしっかりと。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月13日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷 9:11 発、または寄居 8:49 発に乗車。

担当：島田、和田、森本、中里、石井(博)、倉崎、高橋(ふ)、後藤、藤田、栗原、飛田、大澤、新井(巖)

見どころ：大麻生の空、森や林、川面のキャンパスに春を探しましょう。運がよければ、レンジャクやウソに会えるかも。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3月13日(日)

集合：午前8時15分 JR 大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場。

担当：工藤、兼元、日根、松村、百瀬、渡辺

(嘉)、赤堀

見どころ：春浅き見沼の田んぼは静かです。
このカモたちは身近にまで寄ってきます。しばし別れの挨拶を。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月13日(日)

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線北越谷駅東口、集合後8時50分発エローラ行きバスで「松伏高校前」下車。または9時30分松伏記念公園北駐車場。

担当：田邊、橋口、大塚、神場、吉岡(明)、小菅、土澤、榎本(建)、野村(弘)、野村(修)

見どころ：春風に吹かれ、農耕地や都市型公園を歩き、身近な鳥をじっくりと観察します。のんきな冬鳥と、せっちな夏鳥の「鉢合わせ」なんていう光景が見られるかも。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月19日(土)午後3時~4時ころ

会場：支部事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月20日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺(周)、若林、森、小菅、赤堀、新部、青木

見どころ：見沼田んぼは春が楽しい。帰る鳥と来る鳥が交差する。代用水の桜もちらほら。芝川の河川工事がどのように鳥たちに影響するか、そんなことを考えながら歩いてみよう。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月20日(日)

集合：午前9時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越8:13→坂戸で越生線乗り換え8:42発。または寄居7:53→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR川越線大宮7:35→川越で東武東上線乗り換え。

担当：藤掛、高草木、青山、久保田、志村、増尾、佐藤(壮)、杉原、林、原、藤澤、山田(義)、高橋(優)、持丸

見どころ：暑さ寒さも彼岸まで。ツグミや、カモの活発な動きを観察にお出かけください。水辺の宝石カワセミはシャッターチャンス。カラーの表紙を、貴方の写真で飾りませんか。

長瀨町・宝登山探鳥会

期日：3月27日(日)

集合：午前9時20分、秩父鉄道長瀨駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:15発、8:41発(急行)、またはお花畑8:44発。東武東上線川越7:32発(特急)で寄居乗り換え。

解散：午後12時30分ごろ、宝登山山頂にて
担当：井上、青山、小池(一)、小池(順)、佐久間、堀(敏)、堀(久)、喜多、大澤、堀口、

見どころ：山頂までの山道で今年はどうな鳥たちが迎えてくれるのでしょうか。山頂からのパノラマ、見ごろの梅花を楽しみながらお弁当を広げましょう。

ご注意：降雪のため、山頂までの道にはぬかるみなど、足場の悪い所があります。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月27日(日)

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:43発、所沢8:36発に乗車

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山本(真)、久保田、山本(義)、石光、山田(義)

見どころ：昨年の稲荷山公園は、花見客で大宴会場と化していました。今年は静かな鳥見がしたいですね。ペンズイやカラ類、キツツキの仲間を期待。

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月27日(日)

集合：午前9時15分、東武日光駅前。集合後、バスで「総合会館前」まで移動。

交通：東武伊勢崎線春日部7:44発快速日光行き、または栗橋7:54→板倉東洋大前で8:10発快速日光行きに乗り換え、東武

日光 9:11 着。

解散：午後 2 時ごろ、日光東照宮にて

担当：玉井、田中、中里、福井

見どころ：大谷川、稲荷沢沿いの道歩いて
滝尾神社を通るおなじみのコース。カ
ワガラス、ミソサザイなど、埼玉の平
地では少ない山の鳥たちを期待。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月27日（日）

集合：午前 9 時 30 分、県立さきたま資料館前
レストハウス。

交通：JR 高崎線吹上駅北口から、朝日バス行
田車庫（佐間経由）行き 8:52 発で「産
業道路」下車、徒歩約 15 分。

担当：内藤、岡安、和田、立岩、石井（博）、
栗原

見どころ：この季節、貴方の心を染めるのは
どんな色？ 桜の花もちらほら、鳥の
さえずりも春めいては、家に閉じこも
ってられないでしょ。

神泉村・城峯公園周辺探鳥会 （要予約・支部会員限定）

期日：4月29日（金・祝）～30日（土）

集合：29日午後 1 時、JR 高崎線新町駅南口。
集合後バスで現地へ。

解散：30日午後 3 時頃、JR 高崎線本庄駅。

費用：11,500 円の予定（1泊 2 食付宿泊費、
30 日昼食代、保険料など）。万一過不
足の場合は当日精算。現地までの往復
交通費は各自負担。

定員：先着 20 名

申込み：往復葉書に住所、氏名、年齢、性別、
電話番号を明記して、橋口長和（

）まで。

担当：橋口、入山、玉井、中里

見どころ：1 日目は、下久保ダムのヤマセミ
を観察します。夜はロッジのフレンチ
風創作料理を堪能。翌朝は 4 時から、
県内では数少なくなったクロツグミ、
アカハラ、キビタキなどのバードコー
ラスのシャワーに期待します。

注意：宿泊は村営「冬桜の宿・神泉」に泊まり
ます。男女別の相部屋です。個室のご
用意はできません。

ツミの子育てに見る孵化の不思議

長谷川訓寿(上尾市)



昨年夏、運良くツミの求愛行動から巣立
ちまでを観察する機会に恵まれました。最終
的に 4 羽のヒナが育ちましたが、一番子が巣
立ったときには、巣の中にはまだ真っ白な産
毛に覆われた未っ子がいたのです。実はこれ
には、ふか～い秘密があったのです。

たとえばスズメの場合、平均で 4～5 個の
卵が一度に孵化して子育てがスタートします。
この理由として、捕食者に捕らえられるとい
うリスク（危険）を軽減する効果が考えられ
ます。つまり、一羽のヒナが捕らえられても
他のヒナが無事であれば全滅を免れるとい
うわけです。

一方、ツミなどの猛禽にはスズメのよう
なリスクはあまりありません。そのかわり、「獲
物不足」というリスクがあります。彼らの獲
物は小動物や小鳥ですが、ヒナの成長に伴
って獲物の量を増やしていく必要があります。
しかし、いつも狩りが成功するとは限りませ
んね。そんな彼らの卵が、スズメ同様いっ
ぱんに孵化してしまったら、一度に大量の獲
物が必要となり、一回でも狩りに失敗すれば、
たちまちヒナは全滅してしまうかもしれませ
ん。そこで彼らは孵化の時期をずらすこと
によって、一度に必要な獲物の量を、子育て
期間を通じて一定に保っているのではないかと
考えられています。

今回わたしの観察したツミ夫婦は、しっ
かりと未っ子にもエサを与えることができました。
獲物が豊富だったことに加えて、狩りの
腕も良かったのでしょうか。彼らに捕食され
た小鳥たちのことを想いつつ、自然界の不思議
を感じた観察となりました。



行事報告

12月5日(日) 北本市 石戸宿

参加：32名 天気：晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ハシビロガモ オオタカ ハイタカ チョウゲンボウ クイナ バン キジバト カワセミ コゲラ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 前日の夜半から降った雨で、一夜堤周辺が水浸しになり、ルートを変更した。前日、高尾の池にいたオオホシハジロは残念ながら見つけれなかった。カワセミは健在で、皆を楽しませてくれた。オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウの出現が救いだった。冬鳥の種類・数ともに少ない気がする。(岡安征也)

12月5日(日) さいたま市 民家園周辺

参加：29名 天気：雨後晴

カワウ コサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) スタート直後、暖かい日差しと強い雨、気温も低いという天気でどうなることか(4回連続中止か)と思っていたら、時間が経つにつれ、天気も良くなり気温もどんどん上がって、シャツ1枚でも汗ばむほどになった。幸いたくさんの鳥たちとの出会いもあり、時折吹く心地よい風を受けながら、参加者の皆さんも和やかに気持ちよさそうに歩いていた。(伊藤芳晴)

12月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：8名

江浪功、榎本秀和、海老原教子、尾崎甲四郎、藤田敏恵、藤野富代、増尾隆、松村禎夫

12月19日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：55名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ バン オオバン キジバト アカゲラ コゲラ ヒヨドリ モズ カヤクグリ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ アオジ イカル シメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 風も吹かない冬の森林公園。静かでよかったけれど、鳥の声もまばら。でも久し振りにイカル、カヤクグリと出てくれた。赤い鳥は出なかったけれど、ミヤマホオジロが4羽、5羽と出てくれ、盛り上がる。木々が伸びたためか梢の上のほうにいる小鳥たちを見るのに首が痛い。大沼ではオオバンが入っていて人気の鳥となった。これに猛禽が出てくれれば最高だったが。(内藤義雄)

12月19日(日) さいたま市 三室地区

参加：89名 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ハシビロガモ チョウゲンボウ バン オオバン イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 三室の探鳥会に出掛けないと年を越せないとPRしているためか沢山の参加者。そして冬鳥も勢ぞろいした。全員芝川の土手から日の光を十分に浴びたカワセミに感動。家族連れ参加者も多く、なごやかに終了した。(楠見邦博)

12月26日(日) 加須市 はなさき公園

参加：53名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ チョウゲンボウ キジ バン シラコバト キジバト キセキレイ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ

モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) 冬晴の暖かい朝。日光の峰々をバックにスタートした。すぐさま、シロコバトが久しぶりに出てくれた。初めて見るという女性は「きれいだ、きれいだ」とくり返し言っていた。青毛堀川に出るとホオジロ、カシラダカの群れに会う。畑の中では、ひょっこりとキジが顔を出してくれる。池ではマガモとオカヨシガモ♀の識別で話が沸く。植物園ではジョウビタキが頭を振って出迎えてくれた。風もなくおだやかな暮の探鳥会となった。(中里裕一)

1月3日(月、休) さいたま市 さぎ山記念公園
参加：49名 天気：晴れ

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ オオタカ コジュケイ キジ バン オオバン キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (42種) 日陰に残る雪に滑らないように注意し、いつもの鳥たちに新年の挨拶をして歩いたら、思いがけずこの探鳥会最多種記録になっていた。日差しは暖かく風もなく、野外懇親会にはやはりアカショウビンが何羽か出現。いつもどおりに歌も出て、なごやかな楽しいひと時だった。(海老原美夫)



1月5日(水) 滑川町 武蔵丘陵森林公園
参加：58名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ オカヨシガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ハイタカ ノスリ バン オオバン キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ ビンズイ ヒヨドリ カヤクグリ ルリビタキ ジョウビタキ トラツグミ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 中村豊巳さんのリーダーデビューと、武蔵丘陵森林公園を考える会代表の谷津弘子さんの挨拶。定番のルリビタキを見ながら、吊り橋のある「あざみくぼ沼」でトモエガモ♀、「山田大沼」でもトモエガモ♀♀やハシビロガモ等を全員で観察。鳥合わせ後、中央口の多目的ホールで昼食しながら歓談した。帰り道、カヤクグリ3羽、トンボ池のカワセミ、そしてピラカンサの赤い実に群れていたツグミ。(藤掛保司)

1月9日(日) 熊谷市 大麻生
参加：28名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コハクチョウ マガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ ミコアイサ トビ オオタカ キジ イカルチドリ キジバト カワセミ アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ イカル シメズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) 風もなく穏やかな朝。土手に上ると早速オオタカのお出迎え。悠然とその優美な舞を見せてくれた。その時、突然イカルの鳴き声が響き渡る。クヌギの大木の樹冠に止まっていて、じっくり見ることができた。大麻生では久しぶりだ。続いて、養護学校裏のニセアカシアの林の中ではアオゲラが出た。じっとしていられたので、しっかり観察できた。明戸の堰では、ここ数年毎年来るホオジロガモがしきりに潜水を繰り返している。そのかわいらしさは見ていて飽きることがない。途中から風が強くなり、鳥合わせの頃には小雪が舞ってきた。(中里裕一)



●表紙の写真募集中

特別な鳥の特別の写真もいいけれども、普通の鳥の普通の写真を大歓迎。初めての人優先。季節感を大切にしたいものです。40字5行程度のコメントを添えて、下欄の「yamabezuku」宛に送信いただくか、郵送をお願いします。カット写真に使わせていただく場合もあります。原稿料の支払いもありません。申し訳ありません。

郵送の場合は、1枚ごとの裏面に撮影者の名前などをご記入ください。編集会議の席で、封筒から出して、ああでもないこうでもない話し合っている内に、どなたの作品が分からなくなってしまう場合があります。封筒から出す前に全部名前を書けばいいですが、忙しい時にはついそのまま取り出してしまいます。折角いい写真なのに、撮影者名不明で使えなくなってしまうのが、何枚か手元に残っています。

支部会員の皆様のご協力とご好意とお手数が頼りの『しらこぼと』です。お願いします。

●「にほめの一步」から伝言です

多くの方々のご参加をいただいた「にほめの一步」を拠点とする白馬の自然観察会は、しばらくお休みになりました。約10年も続いたものですから、担当者の休息も含めて、この辺で少し見直してみようかというわけです。

2月3日(木) 一步小屋主人渡辺浩平氏(支部会員)が、雪かきに忙しい一日を休んで支部事務局来訪、同氏から支部会員への伝言です。

「長い間大変お世話になりました。支部行事としての自然観察会はひとまずお休みになります。一步主催の自然観察会は続きます。白馬の自然は変わらずに豊かですし、私も元気です。これからもよろしく。」

●県内野鳥分布調査の検討始まる

1985年5月から5年間実施した県内野鳥分布調査の結果は、1993年4月1日発行本誌増刊第107号で発表しました。2005年5月が20年目にあたることから、再び同様の調査を実施しようかという検討が、研究部で始められました。

すべての支部会員がはがきなどで参加できる、前回と同じような方法で、県内の野鳥生息状況の一端を明らかにしようというものです。決まりましたら、詳細をお知らせします。

●事務局の予定

- 3月5日(土) 編集会議、普及部会議。
- 3月12日(土) 4月号校正(午後4時から)。
- 3月19日(土) 袋づめの会(午後3時から)。
- 3月20日(日) 役員会。

●会員数は

2月1日現在 2,379人です。

活動報告

- 1月9日(日)、21日(金) 本部常務会など(海老原美夫)。
- 1月15日(土) 2月号校正(海老原美夫・大坂幸男・喜多峻次・志村佐治・藤掛保司)。
- 1月16日(日) 役員会(司会:楠見邦博、支部報の配布方法・分布調査など)。
- 1月24日(月) 2月号を発送(倉林宗太郎)。
- 1月29日(土)~30日(日) 稲波干拓地から銚子港へ、役員リーダー一泊研修会。

編集後記

近年、オオタカが県平野部の雑木林で頻繁に見られるようになった。未管理雑木林の樹高が高く、営巣可能場所が増加した上に、餌のドバトやカラス類が増えたのがその大きな理由。本来、丘陵山地に生息する鳥が平野部に進出した。喜ぶべきか! (小荷田行男)

しらこぼと 2005年3月号(第251号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608
 本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社